飯盛物語４

第７話 令和８年７月６日発行
校長 池田英二

学校教育目標
「命をだいじに　人をだいじに　自然をだいじに美しく」
～やる気(心)　思いやりの心　たくましい心の育成～
飯盛中テーマ「自立 創造 貢献」
R8年度の合言葉 「日々さらに安心！」
～生徒一人ひとりに居場所があり自分の目標に向かって安心して頑張れる学校に！～

6月18日(木)14:00～　花の苗植えボランティアとクリーン活動(1年生・3年生)




２年生は職場体験学習の準備のため、３年生が花の苗植えボランティアを、１年生が飯盛町のクリーン活動を行いました。３年生は「大潮」横の駐車場に集合して、飯盛町の国道横にあるプランターへの花の苗植えを行いました。



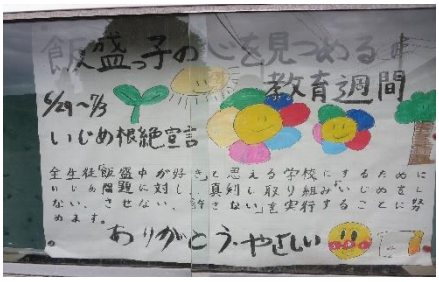
プランターの中の雑草や古い花を抜いて、残った土を耕して、役割分担をして協力しながら花を植えていきました。流石、３年生です。猛暑の中にもかかわらず、短時間で花植え作業を終えることができました。１年生も月の丘公園までの道を中心に、しっかりとごみ拾いを行うことができました。１年生も３年生も飯盛町の環境美化のためによく頑張りました。花植え作業の手順は、「飯盛町美花の会」の４名の皆様に、丁寧にわかりやすく教えていただきました。ご指導ありがとうございました。今年は、「美花の会」の代表の山本芳弘様に「これまで２１年間、花の苗植えを続けてきたが、今年の３年生が一番手ぎわが良くて素晴らしかった。」という最高のお褒めの言葉をいただきました。私もとても嬉しくなりました。これから飯盛町のごみがさらに少なくなり、飯盛中の生徒たちが協力して植えた花の苗が、国道２５１の歩道で美しく大きく育つのを見るのが楽しみになりました。



6月25日(木)～26日(金)1学期期末テスト終了！

１学期の期末テストが終わりました。１年生にとっては初めての「定期テスト」でした。どのように勉強し、どのようにテストを受ければいいのかわからない生徒もいたかもしれません。しかし、担任の木下先生、田上先生を中心に、１年生の先生方が、中学生の勉強のやり方や答案用紙の配り方から試験開始のタイミングに至るまでしっかりと指導されました。 どの学年にとっても、１学期の期末テストは、１学期の学習の総まとめでもあるし、これまで学んだことがどれだけ身に付いているのかを確認するためのものでもあります。生徒一人ひとりが納得のいく勉強を最後の最後まであきらめず、粘り強く行ったと思います。全校生徒の皆さんお疲れ様でした。ゆっくりと休んでまた頑張っていきましょう。

6月29日(月)～7月3日(金)「飯盛っ子の心を見つめる教育週間」





長崎県下全域で「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が実施されました。飯盛中学校では、「飯盛っ子の心を見つめる教育週間」と位置づけ、学校を開放いたしました。初日の２９日（月）には、「命の大切さと思いやり」についての校長講話を行いました。自分の命も他人の命も、この世の中に、たった一つしかない、一番尊いものです。私は、飯盛中の１４２名の生徒一人ひとりが「命の輝き」を大切にする人に育ってほしいという願いをこめて講話をおこないました。それから校長講話の後

に、生徒会執行部が中心になって「飯盛中学校いじめ根絶宣言」を全校生徒で行いました。

７月３日（金）には、全クラスで道徳科の「生命尊重の授業」の授業参観と学年・学級ＰＴＡが実施され、多くの保護者の皆様にご参観いただき、たいへんありがとうございました。ご多忙の中に、ご来校いただき、生徒たちの真剣に学ぶ姿を通して、「飯盛っ子の心」を見つめていただいたことだと思います。今後とも、本校教育へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします

7月1日(水)令和8年度「少年の主張」諫早市大会



先日、小野ふれあい会館で「少年の主張」諫早市大会が開催されました。

本校３年生池田ひかりさんが市内の中学３年生１６人の５番目に、緊張しながらも堂々と発表しました。池田さんの演題は「フェイク　or　リアル？」です。発表原稿を紹介いたします。

「フェイク　or　リアル？」

「あなたはわかる？」どっちが本物か。スマートフォンの画面には、その言葉と２枚の写真が映し出されている。私は迷いなく右の写真に指をかざす。数秒経つと「本物は右」という音声が鳴り、それと同時に２枚の写真の中央には、それぞれ「本物」と「フェイク」という文字が浮かんでいる。「なんだ、簡単じゃん」と思っていたが、問題はどんどん難しくなり、最後の問題では判別できず不正解となった。最近、SNS上で、このようなショート動画をよく見かける。テレビ番組でも「フェイク　or　リアル？」や芸人の人に「AIが作った動画だと気づくのか」などを問うものをよく見かけるようになった。私はAIが作った画像を見ぬくことは簡単だろうと思っていた。しかしその予想は全く違った。テレビ画面に映し出された画像はAIが作ったフェイク動画だったのだ。私は思わず驚いてしまった。司会者が「フェイク動画」と言わなかったら私は完全にだまされていただろう。画面に映し出されていたのはニュースキャスターがデタラメな情報を報道している様子だった。その画像があまりにもリアルで、私がフェイク動画と知らずに見ていたら思わずうのみにしているところだった。番組の司会者がフェイク動画の見分け方について解説していたが、完全に理解するには難しい内容だった。AI技術の発展には驚かされるばかりだ。

チャットGPT、通称チャッピーについての話題も絶えない時代になっている。私がよく見るニュース番組で「夏休みの宿題をAIに考えてもらう」という話題が取り上げられていた。自由研究の内容をAIに考えさせ、それを実践するという内容だった。親たちからは「自由研究で何をしたらよいかが一番分からないから、とても助かる。」という声があがっている。しかし、全てが肯定的な意見ではなく、「自分で考える力が衰えてしまうのではないか」という心配の声も上がっていた。他にもネットニュースを読んで驚いたことがある。とある学校の授業の課題で、表現力が試されるプリントがあった。その課題を解決するためにスマートフォンを学校にもってきてチャッピーに質問をして、AIが考えた回答を書き写して提出していたのだそうだ。スマートフォンを学校に持ちこんでいることも駄目なことだが、それよりも、自分で考えずチャッピーに全てを任せてしまっていることに驚かされた。しかもその生徒は、「中学生らしく」との注文もつけていたそうだ。それだけではない。身の回りの作文などはチャッピーに任せてしまえばどんなに楽だろうという声も聴かれるようになってきている。

AIの発展によって、人の暮らしが便利になっていく反面、AIに頼りっきりになり、自分で考える力はどんどん衰えてきているのではないかと私は思った。そして、これではまるでドラえもんの映画の話が現実になるのではないかと思った。皆さんは、「ドラえもん、のび太とブリキのラビリンス」を知っているだろうか。この物語は、AIを作っていた人が、ついにAIを作るAIを完成させ、AIが人をどんどん支配していくのを阻止するという物語だ。最初は、そんな未来は来ないだろうと思って笑っていた。しかし、今は、そんな未来はそう遠くないうちに来るかも知れないと思えてきた。

私たちは使いこなさなければならないAIにしばられ、自分で考える力を伸ばそうとしなくなってきている。日々の学習の課題には、安易にAIに頼るのではなく、まずは自分で考えることを徹底することが、自分にできること、すべきことだと思った。私は今、進路選択の大事な岐路に立っている。これから長く続く私の人生。何度も大事な選択を迫られる時が来る。その度に自分で納得のいく決断をしたい。だからこそ自分で考え、行動する力を高めていきたい。そして、AIにふり回されるのではなく、正しく活用し、自分の判断に後悔しない人生を送っていきたい。